

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 3月3日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回次 2日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	古賀市	代表者名	川上 幹夫
担当者部署	農林振興課	連絡先電話番号	092-942-1120
担当者役職	主任主事	担当者氏名	松尾 翔太郎
住所	811-3192 福岡県古賀市1丁目1-1		

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	渡邊 智之
評価	ふつう
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	具体的な先進事例とともに地域にあったスマート農業の推進について説明があり、農業者の理解が深まった点がよかった。一方で、アドバイザーからの資料データの提出が遅れることがあった。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日 (申請書より)	支援内容 (申請書より)	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年2月27日	講演(実地)	有	2023/2/7	549
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和5年2月27日	講演(実地)	18時00分	20時00分	
				活動時間(分)	120
3-2. 派遣場所	会場名	谷山公民館	最寄駅	古賀駅	
	所在地	古賀市谷山664	最寄駅からの交通手段	車での送迎	

4. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 農業者、市、県、JA、大学の職員等	人数 26人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい) 農業者や集落においてスマート農業機器等の新技術について情報が行き届いていない。スマート農業機器は高価であるため導入にあたっては地域における農作業上の問題点を明確にし、必要な機器については損益分岐点のシミュレートが必要。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	地域資源の実証ほ場でのスマート農業機器の実証運用・検証結果に基づく小野地区デジタル化・スマート農業推進計画の策定	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	スマート・デジタル農業についての農業者向けの説明、先進事例紹介など (小野地区では、農業者の高齢化や減少により農地や農業用施設の維持管理が困難な状況。担い手への農地の集積が進んでいるが、耕作可能な面積が限界に近づいている。また、水稲と特産品の古賀スイーツコーンの繁忙期が重なり、労働力不足により生産拡大が頭打ちとなっている。作業の効率化とともに地域住民を巻き込んだ地域づくりの体制整備が必要となっている。その中で、スマート農業技術の導入により超省力化、軽労化、技術の継承、高品質化を推進し、またデジタル技術を活用や他業	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	先進事例をご説明いただき、農業者や集落においてスマート農業機器等の新技術について情報を得て理解を深めることができた。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	時間の関係上、具体的にどのスマート農業機器を導入するかの検討まで至らなかった。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 スマート農業について理解を深めることができたと反響があった。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	地域資源の実証ほ場でのスマート農業機器の実証運用・検証結果に基づく小野地区デジタル化・スマート農業推進計画の策定	

未記入のセルがあります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



